

2022年度業務実績報告書

提出日 2023年 1月 19日

1. 職名・氏名 准教授・中井美和

2. 学位 学位 博士（経済学）、専門分野 環境経済学、授与機関 神戸大学、授与年 2015年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 （1）環境経済学（2単位）3、4回生 （2）演習Ⅰ（4単位）3回生 （3）演習Ⅱ（4単位）4回生 （4）外書講読（2単位）2回生
②内容・ねらい （1）環境問題を経済学の視点から理解し、環境問題の解決のために講じられている経済学的アプローチを理解すること。 （2）および（3）卒業論文執筆に向け、研究力の基礎を身につけること。 （4）英語で文章を読むことに慣れること。環境問題に関心を持つこと。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 （1）最新の環境問題を反映した講義内容・資料の作成に務めている。また、第一回目の講義でアンケート調査を実施し、学生の関心のある環境問題を把握することで、できる限り学生が学びたい内容を講義に取り入れるよう心がけている。また、講義中に全員参加型のクイズを出題したり、随時質問を受け付けることで、なるべく学生とのインタラクションを取る工夫をした。 （2）、（3）通常の輪読に加え、前期は2度のフィールドワークを実施することで、環境問題や福井県の繊維産業を体感する学びの機会を設けた。また、今年度より、3回生は後期にグループ研究を取り入れ、市場調査、学生へのアンケート調査を行い、福井県産農林水産物への選好を分析し、地産地消促進の可能性を考察した。 （4）昨年度より、輪読に加え、関心のある環境問題について英語でプレゼンテーションをする課題を設定した。数週間にわたり、講義中にリサーチをする時間を設け、また、発表日前にはワールドカフェのインストラクターを個別に訪ね、発表資料のチェックを受けるよう指示した。当日はワールドカフェの一角をお借りしてプレゼンテーションを実施した。受講生は皆、英語での発表経験はなかったが、今回は良い経験になったという意見が得られた。 【フィールドワーク 3件】
(2)その他の教育活動
オーストラリア Griffith University にて、短期研修プログラムを実施した。中井ゼミの学生を含む5名の学生が参加した。プログラムの目的は、（1）日本との経済的相互関係が強いオーストラリアにおいて、Griffith University が提供する経済学関連科目の workshop に参加し、アジア太平洋地域における経済やビジネスについて学ぶこと、（2）キャンパス内にて環境配慮行動や環境意識に関する対面調査を行い、事前実施した福井県立大学学生への調査結果を用いて日豪比較研究を行うこと、（3）Griffith University の教員に日豪比較研究の報告を行うこと、であった。帰国後は本学ワールドカフェにて研究報告を行った。

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	【 0本】
②学術論文（査読あり）	【 0本】
③その他論文（査読なし：すべて査読中）	
<p>*1. <u>Nakai, M.</u>, Ravago, M. V., Miyaoka, Y., Saito, K., Arimura, T. H. Consumers' preferences for energy-efficiency air conditioners in a developing country: A discrete choice experiment using eco labels. Under the second revision for <i>Energy Efficiency</i>.</p> <p>2. <u>Nakai, M.</u>, V. Lossel., V., Wetzel, H. Preferences for dynamic electricity tariffs: A comparison of households in Germany and Japan. Submitted for <i>Resource and Energy Economics</i>.</p> <p>3. Arimura, T. H., Groh, E. D., <u>Nakai, M.</u>, Ziegler, A. The causal effect of private and organizational climate-related identity on climate protection activities: Evidence from a framed field experiment in Japan. Submitted for <i>Management Science</i>.</p> <p>*4. Mitsunami, K., <u>Nakai, M.</u> Are sustainable firms more innovative? The case of China. Submitted for <i>Japan & The World Economy</i>.</p>	
	【4本】
④学会発表等	
<p>*1. <u>Nakai, M.</u>, Arimura, T. H. Do your friends help you to be green? <i>The 11th Congress of the Asian Association of Environmental and Resource Economics, 2022</i>. 2022年8月開催.</p> <p>*2. <u>Nakai, M.</u>, V. Lossel., V., Wetzel, H. Preferences for dynamic electricity tariffs: A comparison of households in Germany and Japan. <i>43rd IAEE (International Association for Energy Economics) Conference</i>. 2022年8月開催.</p> <p>*3. Arimura, T. H., Groh, E. D., <u>Nakai, M.</u>, Ziegler, A. The causal effect of private and organizational climate-related identity on climate protection activities: Evidence from a framed field experiment in Japan. 環境経済・政策学会 2022年大会. 2022年10月開催.</p>	
	【3件】
⑤その他の公表実績	
<p>*1. <u>Nakai, M.</u>, Arimura, T. H. Do your friends help you to be green? <i>Series of Young Researchers Workshop 2022</i>. 富山大学. 2022年11月開催.</p> <p>*2. <u>Nakai, M.</u>, Yajima, N., Ravago, M. L. Do households choose energy-efficient air-conditioners? Findings from Manila, Cebu, and Davao. "Recent Economic Trends on Development and Environment", <i>University of the Philippines</i>. 2022年12月開催.</p>	
	【2本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
【学外】	
中井美和（研究代表者）．日本学術振興会 科学研究費 若手研究. ESG投資の普及要因に関する実証的研究.（2年目）	
中井美和（共同研究者）．日本学術振興会 二国間交流事業. 環境保全行動の日独比較:気候変動対策と ESG投資の視点（代表：早稲田大学 有村俊秀）．（2年目）	
中井美和（共同研究者）．日本学術振興会 科学研究費 基盤研究 C. U理論に基づいた自律性支援型 ESD 授業における動機づけ評価指標の実証的研究（代表：金沢大学 河内幾帆）．（3年目）	
中井美和（研究代表者）．住友財団 環境研究助成 一般研究. 省エネエアコン購入を促進する情報提示の在り方に関する実証研究：フィリピンの事例.（新型コロナウイルス感染症の影響により研究期間延長中）	

<p>【学内】 中井美和（研究代表者）．福井県立大学 競争的課題研究推進支援．サステナビリティパフォーマンスとジェンダーギャップの関係性～日本企業を事例として～．（単年）</p>
<p>(3)特許等取得 なし</p>
<p>(4)学会活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 昨年設立した「北陸環境経済学ワークショップ」を開催し、自身も研究発表を行なった。発表の詳細は以下の通り。 中井美和．Do households choose energy-efficient air-conditioners? Findings from three metropolitan cities in the Philippines. 第3回北陸環境経済学ワークショップ. 2022年12月23日, 福井県立大学にて開催. ● 環境経済・政策学会 2022年大会 座長（2セッション）

5. 地域・社会貢献活動

<p><u>委員就任（県）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 福井県環境審議会 委員（期間：令和4年2月1日～） ● 福井県県民社会貢献活動推進協議会 委員（期間：令和4年2月16日～）
<p><u>委員就任（市町村）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 池田町脱炭素実行ビジョン策定専門会議 委員（期間：令和4年8月1日～）
<p><u>新聞記事 監修</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 掲載媒体：福井新聞 別刷り特集「サステナ！2030」 監修、学生執筆記事の監修・指導 ● 掲載日：2022年9月25日（日）
<p><u>ラジオ出演</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 番組名：FBC ラジオ「午後はとことんよろず屋ラジオ」キラリ☆フューチャーSDGs 出演 日時：2022/11/23（水） ● 番組名：FBC ラジオ「ユウグレディオ」ゆるがったチャンス 出演 日時：2022/11/28（月）
<p><u>講演会 講師</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国際ソロプチミスト福井 講演会講師 ● タイトル：気候変動問題～他人事から自分事へ～ ● 開催日：2022年3月15日（火）
<p><u>短期ビジネス講座 講師</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● タイトル：カーボンプライシング入門 ● 開催日：2022年10月22日

6. 大学運営への参画

(1)補職
なし
(2)委員会・チーム活動
国際部会 委員 英語教育に関する学長諮問委員会 委員
(3)学内行事への参加
なし
(4)その他、自発的活動など